

北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」 懇談会(第3回)説明資料

平成20年6月13日

事務局作成資料

事務局:国土交通省 近畿地方整備局

豊岡河川国道事務所

第3回懇談会の議題

1. 第2回懇談会での意見と対応

豊岡道路の事業の流れ

インターチェンジの必要性

貴重な鳥類生息環境での道路計画の事例

農地に関する配慮

景観に関する配慮

2. 「概略ルート（案）」

「コントロールポイント及び配慮事項」の再整理

概略ルート（案）の設定

概略ルート（案）の比較

3. 懇談会の「とりまとめ骨子（素案）」

1. 第2回懇談会での 意見と対応

意見に対する対応

第2回懇談会での意見	対 応
・自然環境への配慮に関して、懇談会と環境アセスメントの位置付けが不明	豊岡道路の事業の流れ及び環境調査の位置付けの説明
・インターチェンジが必要かどうか懇談会で議論する	必要性について整理
・コウノトリへの配慮に関して、鹿児島県出水市のツルの事例が参考になるかもしれないという助言	鹿児島県出水市の情報収集及び整理(ツルの事例紹介)
・農業従事者への配慮が必要	地域の農業に対する取り組みを整理して議論
・懇談会の時点から景観に配慮し、検討する必要がある	概略ルート(案)レベルでのイメージスケッチを作成して、提示

豊岡道路の事業の流れ

基本計画決定

平成9年2月に旧豊岡市～八鹿町までの区間(豊岡道路、日高豊岡南道路、八鹿日高道路)が「一般国道の自動車専用道路として整備される路線」の指定を受ける

アンケート調査

平成19年8月～9月にかけて、豊岡市全世帯を対象として、豊岡道路の計画に関するアンケート調査を実施

- ・但馬地域の現況道路に関する設問
- ・豊岡道路の計画において配慮すべき事項に関する設問
- ・豊岡道路に期待する事項に関する設問
- ・自由意見

豊岡道路懇談会

学識者、市民代表、民間団体、行政機関、事業予定者が一体となり、豊岡道路の計画(みちづくり)について、よりよい計画となるよう、審議して取りまとめる懇談会を開催

- ・但馬地域の現状と課題
- ・豊岡道路の概要
- ・豊岡道路に求められる機能及び整備効果の検討
- ・計画上のコントロールポイントと配慮事項の抽出
- ・概略ルート(案)の検討
- ・とりまとめ(配慮事項等)

概略ルート(案)の決定

アンケート結果及び懇談会の結果を受けて、事業者が概略ルート(案)を決定

環境影響評価及び都市計画手続き

法令等に基づく手続きを実施

- ・大気質・騒音等の生活環境項目、植物・動物等の自然環境項目、景観等について、調査※、影響予測・評価、環境保全対策の検討を実施
- ・都市計画手続きを実施

※: 詳細な環境現地調査を実施

都市計画決定

事業化

整備効果や費用対効果を検討し、事業化の可否を決定

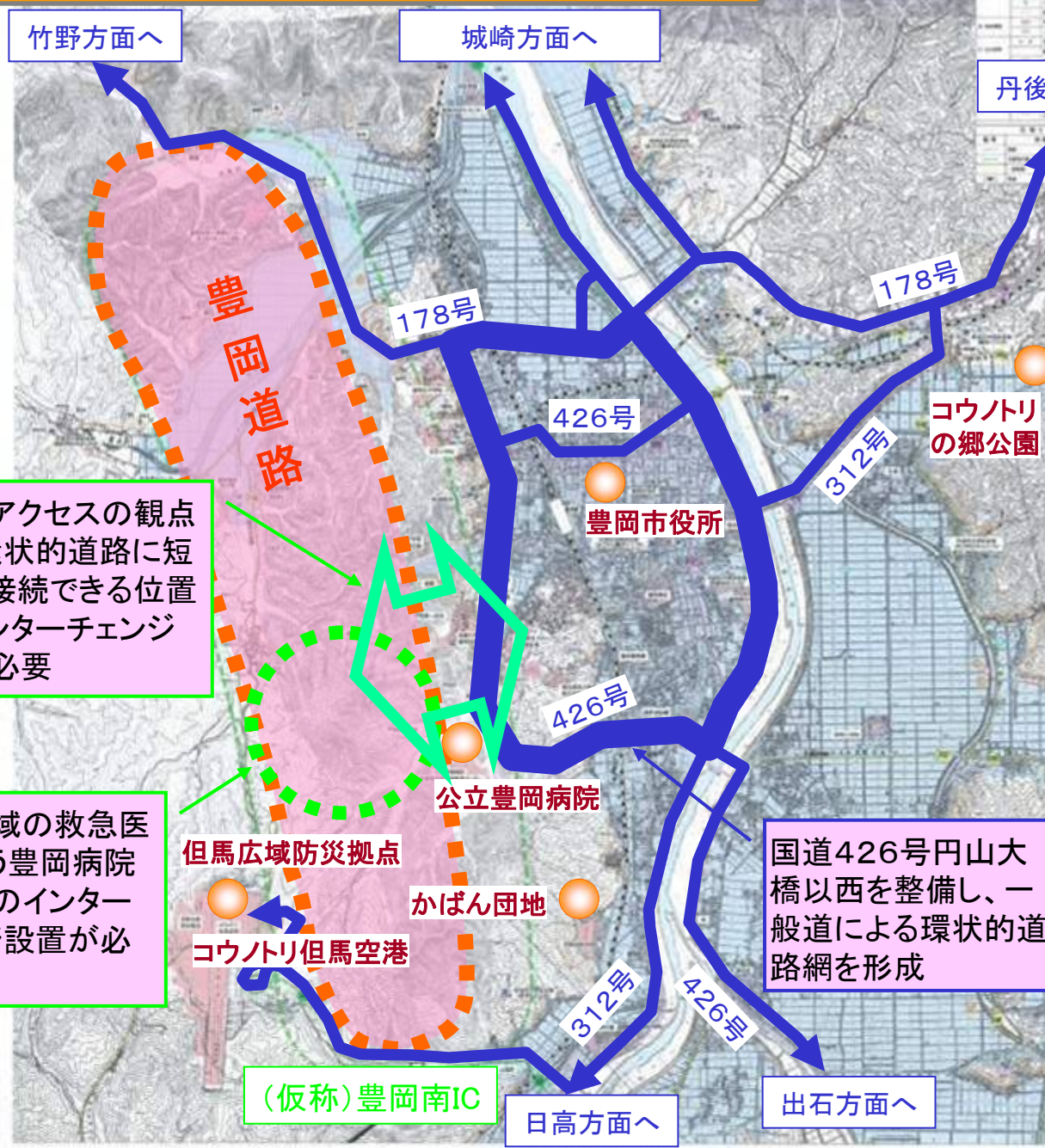
測量・調査・設計・用地交渉

工事着手

供用

※現段階は豊岡道路懇談会であり、具体的な設計、環境調査等は今後実施する。
※懇談会実施後も、住民の意見を計画に反映させるため、意見書の受け、地元説明等を随時実施する。

インターチェンジの必要性



市街地アクセスの観点から、環状的道路に短時間で接続できる位置へのインターチェンジ設置が必要

但馬全域の救急医療を行う豊岡病院付近へのインターチェンジ設置が必要

但馬広域防災拠点
コウノトリ但馬空港

かばん団地

国道426号円山大橋以西を整備し、一般道による環状的道路網を形成

将来の道路網
○豊岡道路の供用
○一般道による環状的道路網形成

整備効果
○移動時間の大幅短縮
○通過交通の排除により、市内交通の渋滞緩和、事故減少等、交通の円滑化
○災害時、積雪時に機能する道路が存在

課題
○豊岡道路から市街地や観光地に向かう主要な一般道へのアクセスが不十分
○但馬全域の救急医療を行う豊岡病院がインターチェンジから離れている
○豊岡南ICから環状的道路間の国道312号の付加軽減が不十分

インターチェンジの必要性
○豊岡道路から環状的道路に短時間でアクセスでき、かつ、豊岡病院に近い位置へのインターチェンジ設置が必要

貴重な鳥類生息環境での道路計画の事例(鹿児島県出水市)

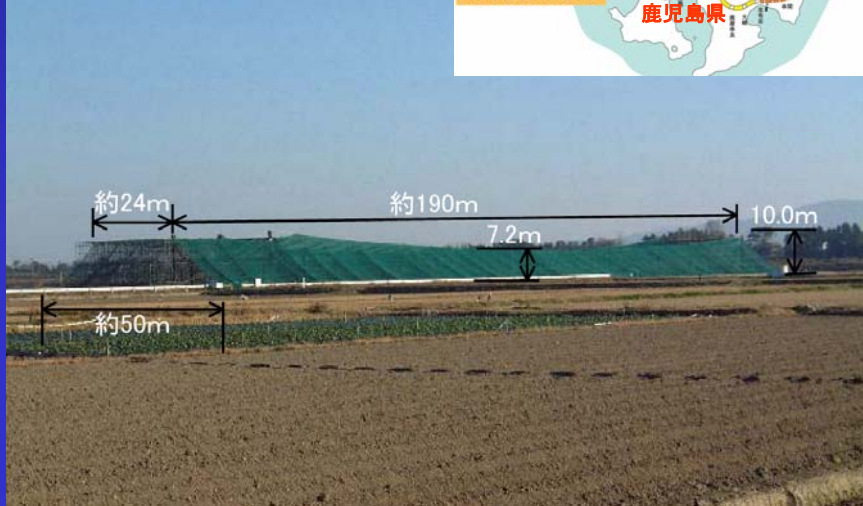
出水市の模型実験等で分かったこと

(南九州西回り自動車道:ナベヅル・マナヅルの事例)

- 模型設置後1～2週間でねぐらから餌場まで(中距離移動)の飛行経路、採餌等の行動は元に戻った。
- 中距離移動の平均飛翔高度は、模型設置時64m、模型非設置時53m、最低飛翔高度の平均は、模型の有無にかかわらず39m。
- 工事に関する影響はほとんどない。
- 車両とツルの離隔が概ね50m以下であると、警戒、飛立等、ツルの行動に影響があった。
- 照度が低ければ、照明による影響はない。

※ツルの事例がコウノトリにあてはまるかどうかは不明である。

鹿児島県出水市の模型実験
鹿児島県のツルの渡来地は特別天然記念物
ナベヅル・マナヅルは種の保存法による国際希少野生動植物種



出水市のツルと豊岡のコウノトリとの相違

	ナベヅル・マナヅル	コウノトリ
地域での個体数	ナベヅル約10,000羽、マナヅル約2,500羽	19羽+α(飼育外個体数+20年の雛数)
分布	冬鳥、国外で繁殖	豊岡では留鳥、繁殖あり
生息環境	水田、畑、干潟等	水田、河川等の湿地等
餌	植物の根茎、小動物	小動物
飛翔高度	地上39m以上(中距離移動)	地上20~30m(短距離移動)地上40m(中距離移動)
営巣箇所	国外で湿地の地上(高いところにはとまらない)	地上12m程度の人工巣塔
ねぐら	共同ねぐら(人工)	単独またはつがい



ナベヅル 体長1.0m,体重3~4kg

マナヅル 体長1.3m,体重5~7kg

コウノトリ 体長1.1m,体重4~5kg

写真:鹿児島県国道事務所資料、豊岡河川国道事務所資料等

農地に関する配慮

アンケート調査・懇談会での農地に関する意見

<アンケート調査結果（28件の自由意見）>

- ・ 農道、農地を大切に。
- ・ 住宅地、農地を潰すことは可能な限り避け、山林を選ぶべきである。
- ・ 農地の保全を考えてほしい。
- ・ 林業、農業もしっかり残し、若者も働けるように考えていきたいので、もう一度、将来を見すえた道路計画を立て直してほしい。

<懇談会意見>

- ・ 農地への支障を減らして欲しい。
- ・ 減農薬で取り組み、ブランド米となっている田圃は特に配慮が必要。
- ・ 道路整備により農地の価値が下がる可能性がある。

地域の農業に対する取り組み(コウノトリ育む農法)



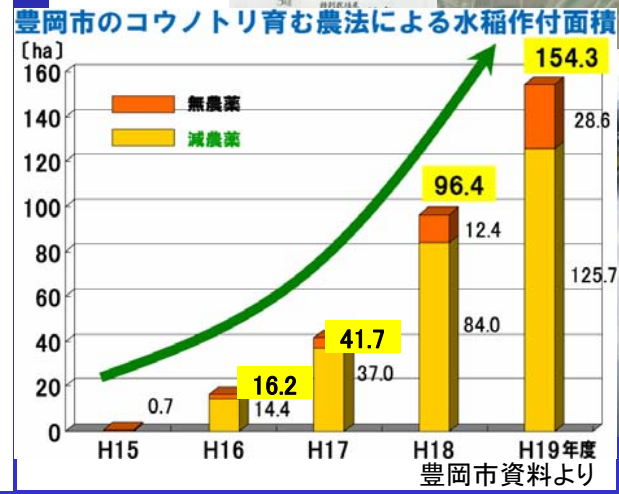
コウノトリ育む農法実施箇所



図の範囲では、約20名の生産者がコウノトリ育む農法を実施(合計2.4ha)

コウノトリ育む農法

- 無農薬・減農薬等により、安全で安心な作物作りと動物との共生を実現する農法で、稲作が主である。
- その耕作面積は、豊岡市では平成15年には0.7haであったが、平成19年には154haと年々めざましく広がっている。
- コウノトリ育む農法では、稲の収穫量は10～15%減少するが、販売単価が上がるため、**農家販売額は20～40%増加する。**(但馬県民局資料より)
- 豊岡市福田・森津等でもコウノトリ育む農法や冬期湛水田が実施されている。



冬期湛水田(豊岡市福田)

景観に関する配慮

アンケート調査・懇談会での景観に関する意見

<アンケート調査結果（36件の自由意見）>

- ・ 景観を損なうと観光産業にとって大きな打撃となる。
- ・ 豊岡の景観と共存した道路を望む。
- ・ 自然の景観を残し、静かな街を目指してほしい。
- ・ 自然にマッチした絵になる道路づくり。
- ・ 但馬の風情を思わせるレイアウトやロケーション

<懇談会意見>

- ・ 景観に配慮してほしい。
- ・ 懇談会の段階で、ぜひ景観について考慮する事項を整理すべき。

景観検討の流れ

1. 概略ルートのご検討 比較ルートのご検討 路線決定

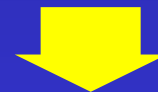
基本的考え方

- ① 視界や視野について、視界の遮蔽や、空間の狭隘さを軽減する。
- ② 構造物により生まれる陰影の影響に配慮する。
- ③ 景観資源の保全・活用を図る。

地形は極力さわらず、有形の資源は保ち活かす。



2. 構造物のご検討 構造、規模、構造物の概略デザイン (形状、色彩、素材等)



3. 詳細ご検討 構造物のデザイン 付属物のデザイン

概略ルート検討における景観整備上の配慮事項（案）

概略ルート上の地形等の条件		景観整備上の配慮事項
平地	一般(高架の場合)	空間の分断の影響、視界の阻害、 圧迫感、煩雑感や陰影の影響
	田畑、住宅近傍、 集落近傍	日照・日陰（季節・時間）の影響 生活圏・地区コミュニティへの影響、集落から田畑への眺望
	交通路	一般の道利用者の見通し
谷渡り	一般(高架の場合)	谷筋と計画道路の交差角度 谷の空間への影響、圧迫感や陰影の影響
	田畑、住宅近傍、 集落近傍	日照・日陰（季節・時間）の影響 構造物による集落への陰影の影響、谷空間全体の眺望
	道路上	道路軸との交差角度
川渡り		流軸横断の角度
山地・台地	稜線	稜線の連続性
	山腹・山裾・山端	地形改変の影響
切土・盛土		地形改変の影響、のり面の緑化回復等への配慮
トンネル坑口		緑化等の配慮、道路利用者の快適性の配慮
景観資源の	保全・活用	道路外観、道路内観の質を高める観点

2. 「概略ルート（案）」

**(1) 「コントロールポイント
及び配慮事項」の再整理**

1. コントロールポイント及び配慮事項の考え方

コントロールポイント

既に存在しており、極力避けたり、アクセスしなければいけないもの

- 道路のルートを検討する際に、極力避けるべきもの

(豊岡清掃センターは移転が決まったため、コントロールポイントから除外した。)

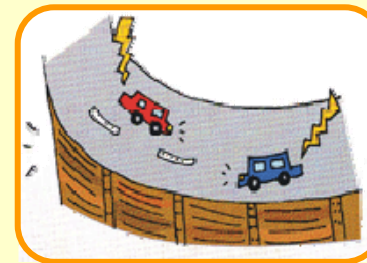


配慮事項

コントロールポイント以外の地形や環境など配慮が望まれるもの

- ルートの配慮事項
道路のルートを検討する際に、地域の状況をふまえて考慮するもの
- 技術的検討課題
ルートだけでなく、構造で配慮するもの

エコロード
道路としての機能は重要



景観に配慮



2. コントロールポイント

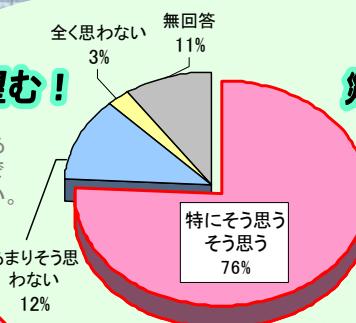
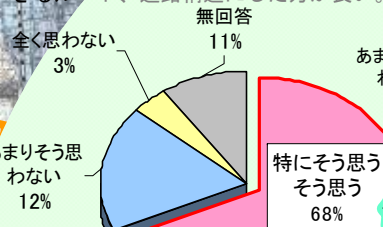


コントロールポイント

自然	・コウノトリ現利用域、ビオトープ ・オオタカ営巣期高利用域
社会環境	・学校 ・病院 ・住宅等施設
文化財等	・雅成親王陵 ・高屋霊園
公共施設	・コウノトリ但馬空港 ・浄化センター ・中央卸売市場 ・最終処分場
防災関連	大規模地滑り箇所

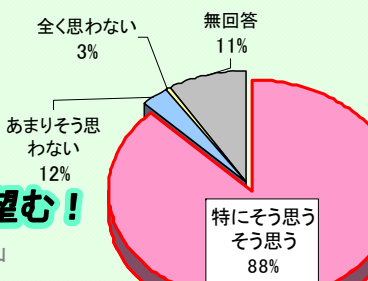
住民の68%が 貴重な動植物との共存を望む！

【設問】コウノトリや生態系の頂点であるクマタカなど貴重な動植物と共存できるルート、道路構造にした方が良い。



住民の88%が 災害時の緊急輸送道路として走行できるルートを目指！

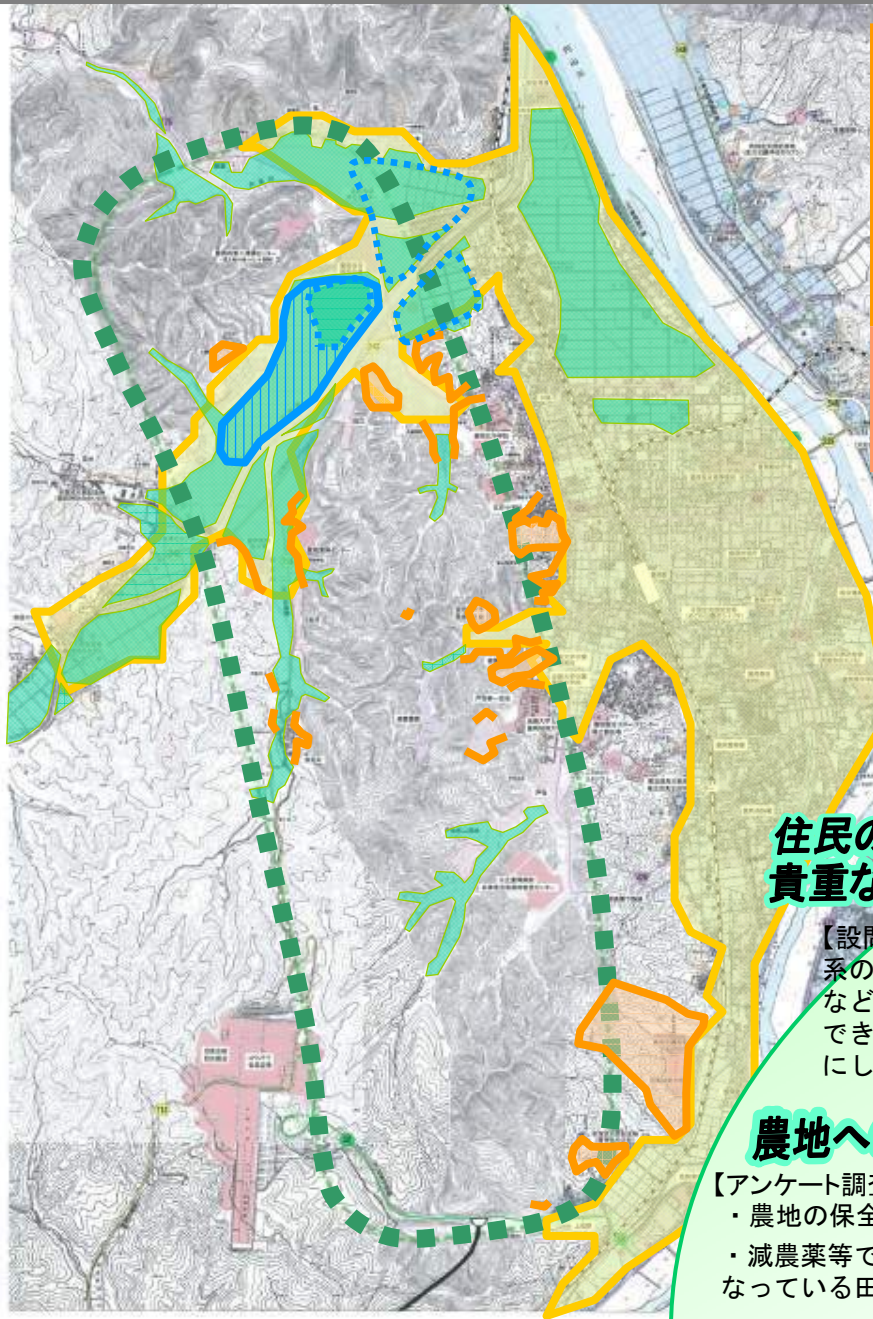
【設問】災害時でも緊急輸送路として走行できるようなルート、道路構造にした方が良い。



住民の76%が 住宅地を避けたルートを目指！

【設問】住宅地を避けて、水田や山林を通るルートとすべきである。

3. 配慮事項

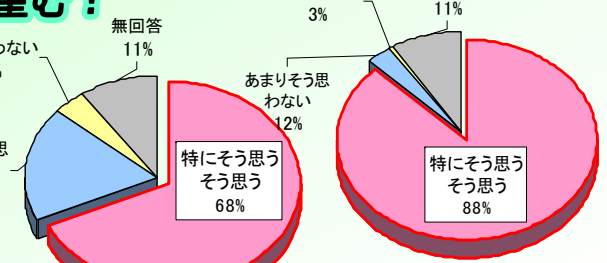


配慮事項	
自然	・コウノリのえさ場(将来)
社会環境	・農地 ・景観(範囲は示せず)
防災関連	・浸水域 ・土砂災害箇所(大規模なもの除く)

- ・道路のルートを検討する際に、地域の状況をふまえて考慮するもの
- ・ルートだけでなく、構造で配慮するもの

**住民の88%が
災害時の緊急輸送道路として走行できる構造を望む!**

【設問】災害時でも緊急輸送路として走行できるようなルート、道路構造にした方が良い。 全く思わない 無回答



**住民の68%が
貴重な動植物との共存を望む!**

【設問】コウノリや生態系の頂点であるクマタカなど貴重な動植物と共存できるルート、道路構造にした方が良い。

農地への配慮!

- 【アンケート調査・懇談会での意見】
- ・農地の保全を考えてほしい。
 - ・減農薬等で行き組み、ブランド米と
- なっている田圃は配慮が必要。

景観への配慮!

- 【アンケート調査・懇談会での意見】
- ・景観を損なうと観光産業にとって大きな打撃。
 - ・懇談会で、ぜひ景観に配慮すべき事項を整理すべき。

「豊岡道路」(H19)アンケート調査結果

4. アンケート調査と第1・2回懇談会での意見による コントロールポイントと配慮事項の整理(案)

項目	意見	対応		
		コントロールポイント	配慮事項	
			ルート検討上の配慮事項	技術的検討課題
自然	貴重な動植物との共存	○ (コウトリえさ場(現在)、オオタカ)	○ (コウトリえさ場(将来)、生育環境)	
	自然への配慮		○	○
社会環境	救急医療とのネットワーク	○ (病院)	○ (アクセス)	
	観光資源とのネットワーク		○	○
	住宅地を避ける	○	○	
	水田や山林を通る	○	○	
	農地を避ける		○	
	市街地や病院へのアクセス		○	○
	景観への配慮		○	○
史跡等	神社、仏閣、霊園、遺跡等	○ (霊園)	○ (墓地)	
防災関連	災害時の通行の確保	○ (浸水区域(縦断)、大規模地すべり)	○ (浸水区域、地すべり)	○ (浸水区域、地すべり)
	冬場の走行性			○
その他	軟弱地盤の水田地帯			○
	安全走行性		○	○

(2) 概略ルート（案）の設定

概略ルート(案)の設定

概略ルート(案)の基本条件

<道路の機能>

- 1.所要時間の大幅短縮、一般道の渋滞解消、事故減少に寄与する道路
- 2.災害時、冬季積雪時に機能する道路
- 3.緊急医療活動に資する道路

<道路の線形>

- 1.豊岡道路のおおよその範囲の中でコントロールポイントを避けたルート
- 2.南端は(仮称)豊岡南IC、北端は国道178号
- 3.曲線半径、縦断勾配等の幾何構造は道路構造令の標準値以上
- 4.豊岡病院の近くを通過
- 5.台風23号の浸水高以上
- 6.鳥取豊岡宮津自動車道が今後計画された場合に接続できるルート

概略ルート(案)の基本条件であり、設定するルート(案)でその機能等に大きな差は生じない。

設定した概略ルート(案)

○道路の線形の基本条件から、概略ルート(案)3案が設定可能

○各案のコンセプトは以下のとおり

①案(環境優良案)

- 豊岡南ICから山地部の西側を通過し、新堂付近で国道178号に接続するルート案
- コウノトリの餌場や景観等への配慮が優れる

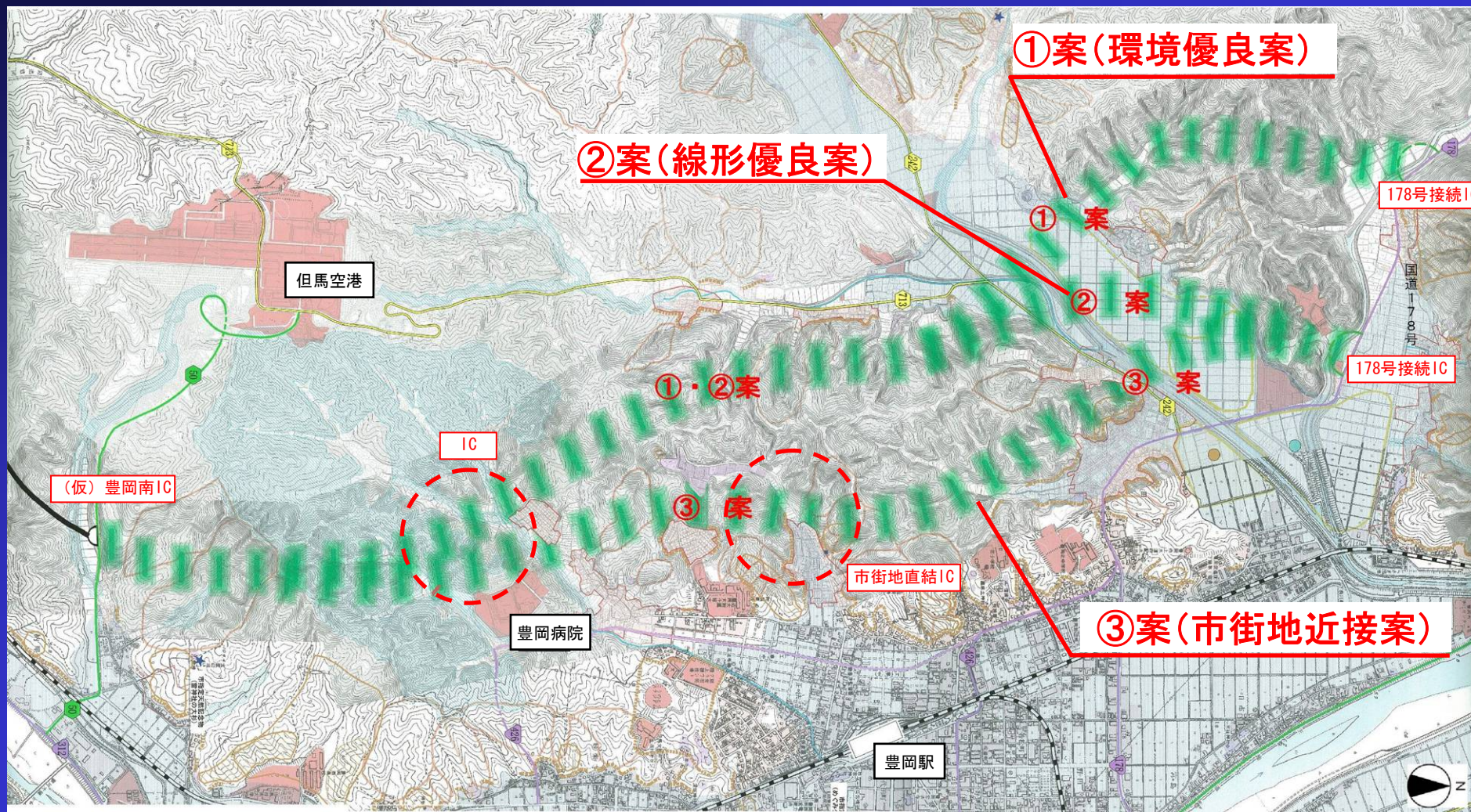
②案(線形優良案)

- 豊岡南ICから山地部の西側を通過し、森津付近で国道178号に接続するルート案
- 道路線形が優れ、走行性がよい

③案(市街地近接案)

- 豊岡南ICから山地部の市街地側を通過し、森津付近で国道178号に接続するルート案
- 市街地直近への追加IC設置の可能性を検討する案で、コウノトリの餌場はコントロールから除外

設定した概略ルート(案)



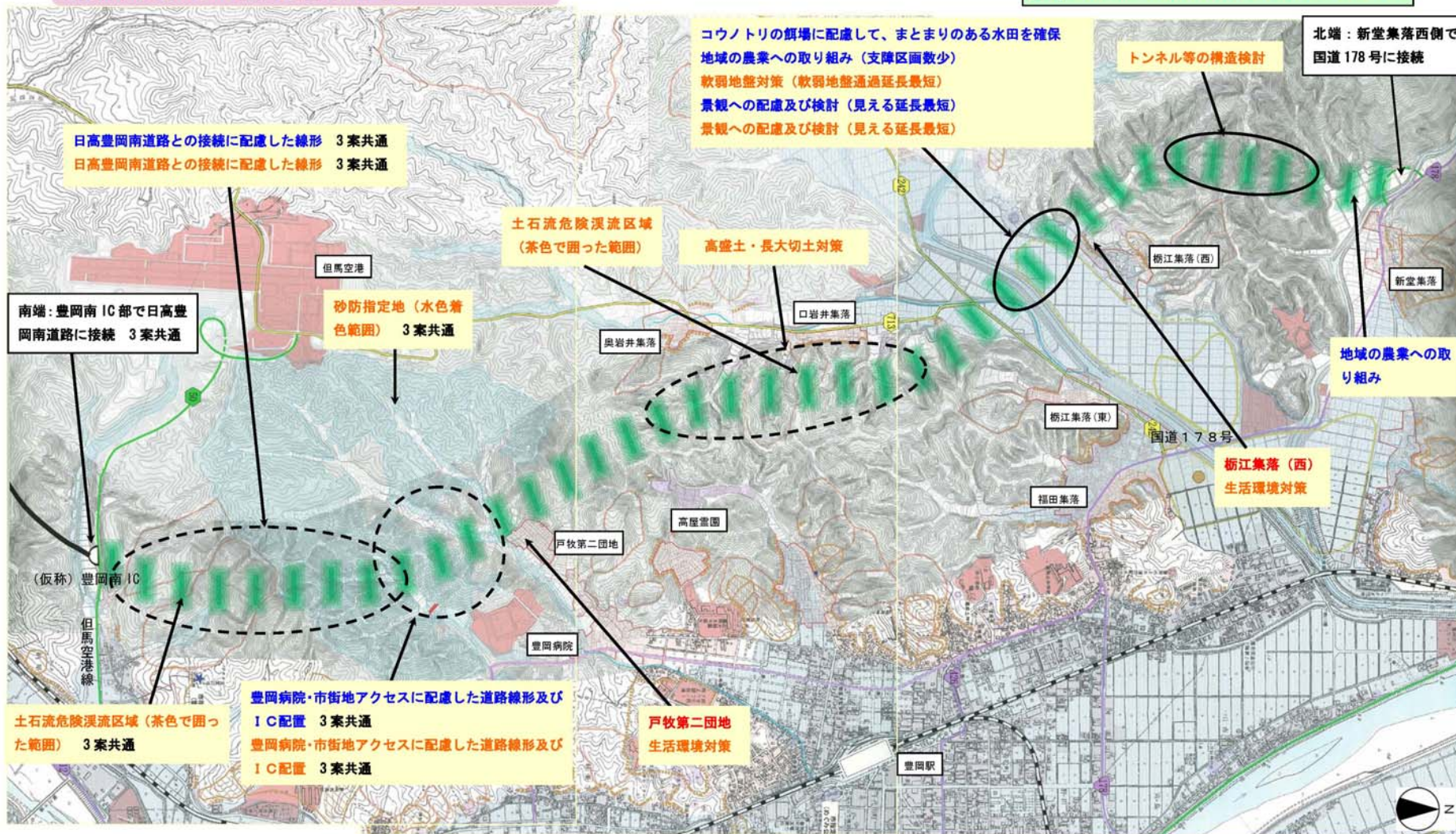
(3) 概略ルート（案）の比較

①案(環境優良案)

豊岡道路概略ルート(案) (①案: 環境優良案)

他案に比べて、コウノトリ、景観等への配慮が優れている。
延長がやや長いという点では他案に劣る。

凡例
 赤字: コントロールポイント(近接部のみ表示)
 青字: 概略ルート(案)を設定した際の配慮事項
 橙字: さらにルートの絞り込みを行う際の配慮・検討事項

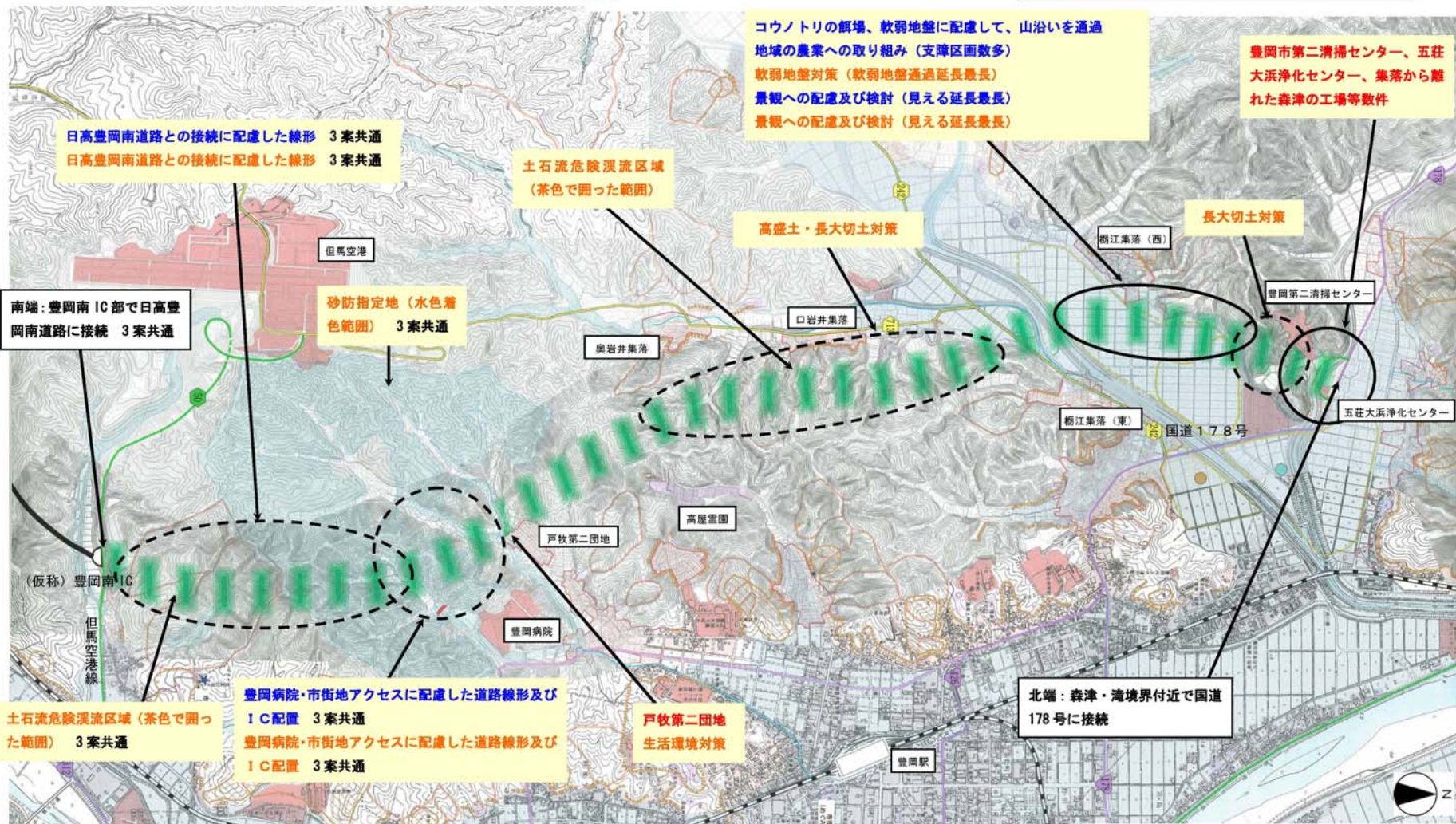


②案(線形優良案)

豊岡道路概略ルート(案)(②案:線形優良案)

他案に比べて、道路線形が優れており、走行性がよい。
コウノトリへの配慮に関しては①案に、景観に関しては他案に劣る。

凡例	
赤字	: コントロールポイント(近接部のみ表示)
青字	: 概略ルート(案)を設定した際の配慮事項
橙字	: さらにルートの絞り込みを行う際の配慮・検討事項



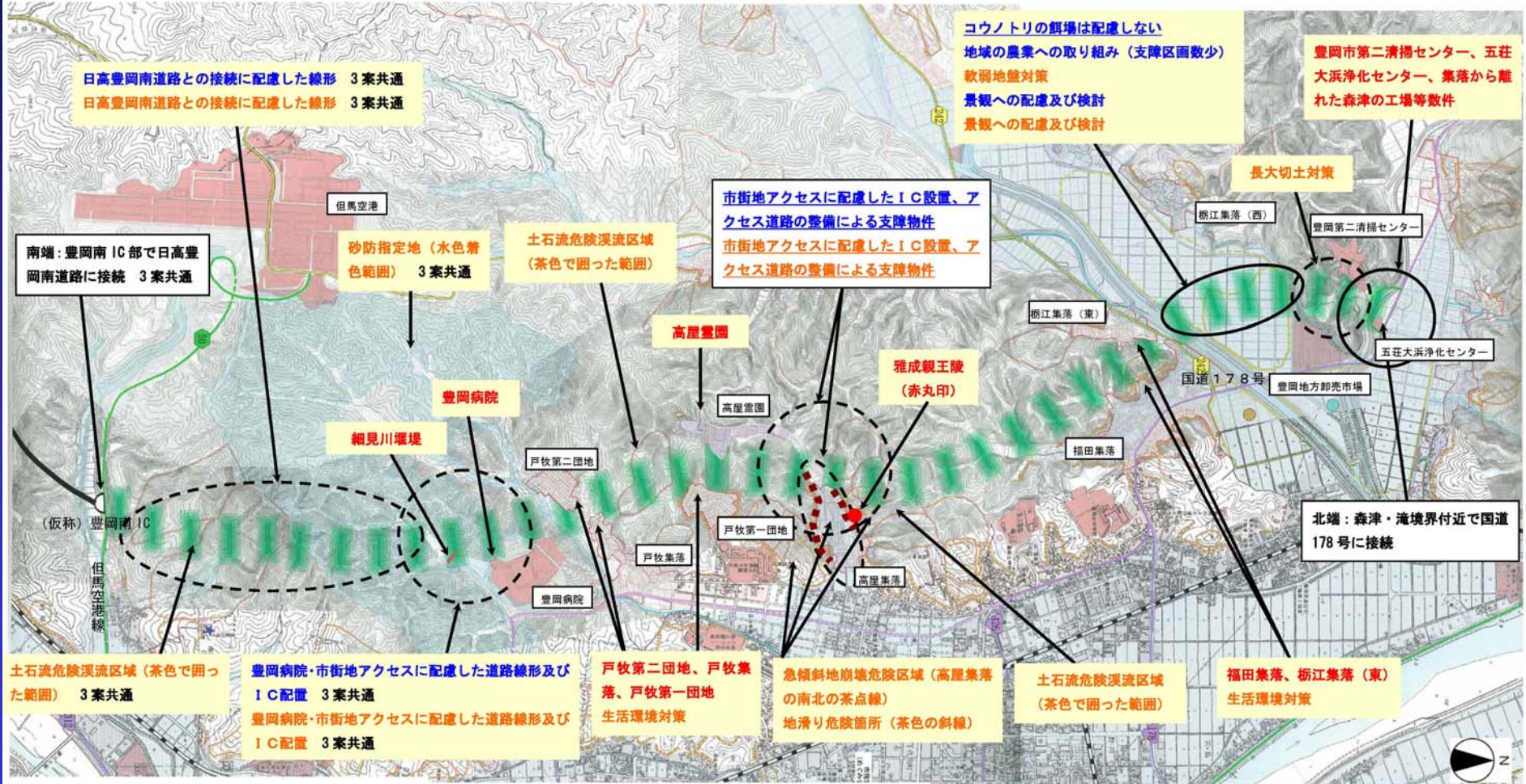
③案(市街地近接案)

豊岡道路概略ルート(案)(③案:市街地近接案)

追加 IC を設置する場合、他案に比べて、市街地等からのアクセスがよい。
 ただし、インターチェンジ及びアクセス道路の整備により、事業費は高くなり、近接する集落等も多い。
 コウノトリの餌場には配慮していない。アクセス道路による支障物件数が多い。

凡例

赤字	: コントロールポイント(近接部のみ表示)
青字	: 概略ルート(案)を設定した際の配慮事項
橙字	: さらにルートの絞り込みを行う際の配慮・検討事項



概略ルート(案)の概略イメージスケッチによる景観

概略イメージスケッチの考え方(福田・栃江の田圃及び奈佐川横断部)

- 構造は今後検討する予定だが、仮に一般に考えられる高架(橋梁)構造を想定
- 高架の道路までの高さは約10m程度(通常より低い)、橋脚の間隔は30m程度を想定
- コウノトリが自動車に衝突しない様にパネルなどを設ける(壁か網かなどは未定)

設定した視点場

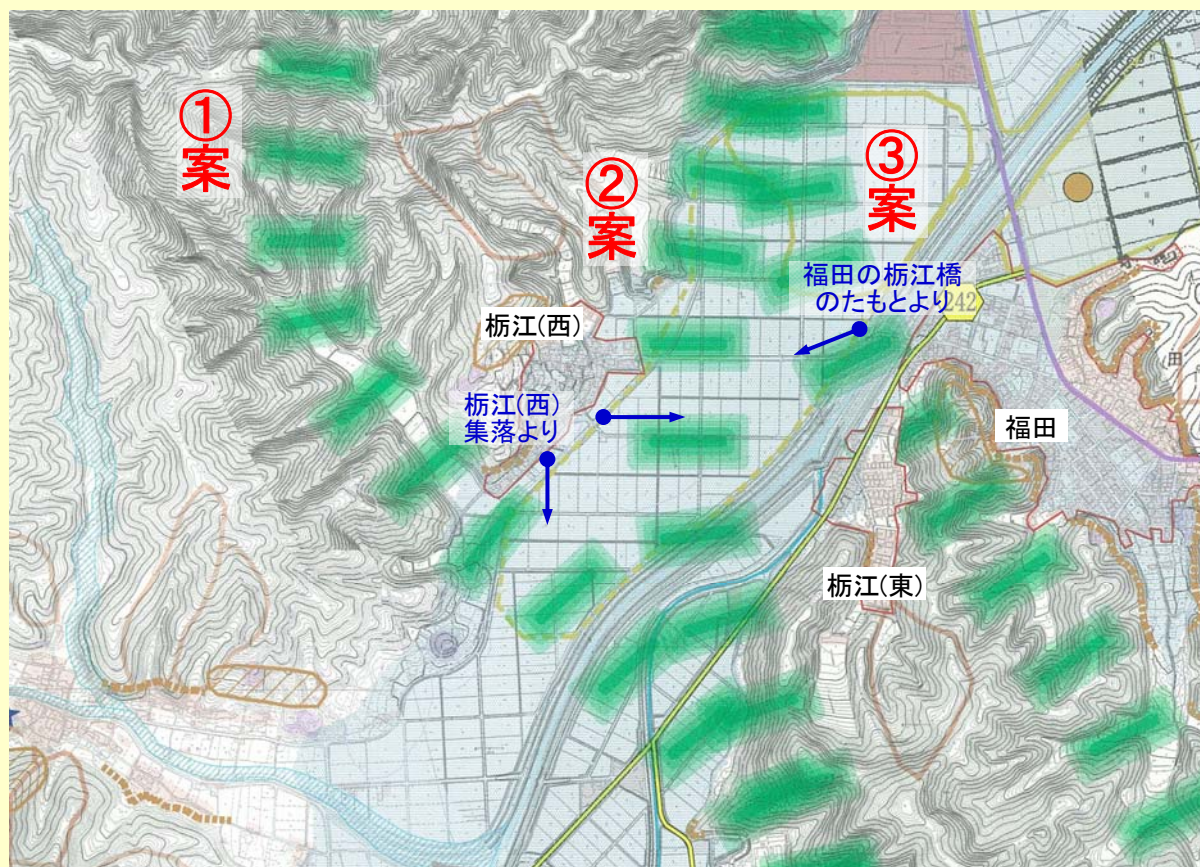
- 福田・栃江からの眺望
景観として設定

[視点場]

- 福田の栃江橋たもと
- 栃江(西)集落

[イメージスケッチ作成]

- 参考として、①案及び
②案のイメージスケッチ
を作成



福田の栃江橋たもとの景観

①案の概略イメージスケッチ



～福田の栃江橋たもとの南西を望む～

※あくまで概略のイメージ
ルート・構造は今後検討

②案の概略イメージスケッチ



～福田の栃江橋たもとの南西を望む～

※あくまで概略のイメージ
ルート・構造は今後検討

栃江(西)集落からの景観

①案の概略イメージスケッチ

～栃江(西)集落から南を望む～

※あくまで概略のイメージ
ルート・構造は今後検討



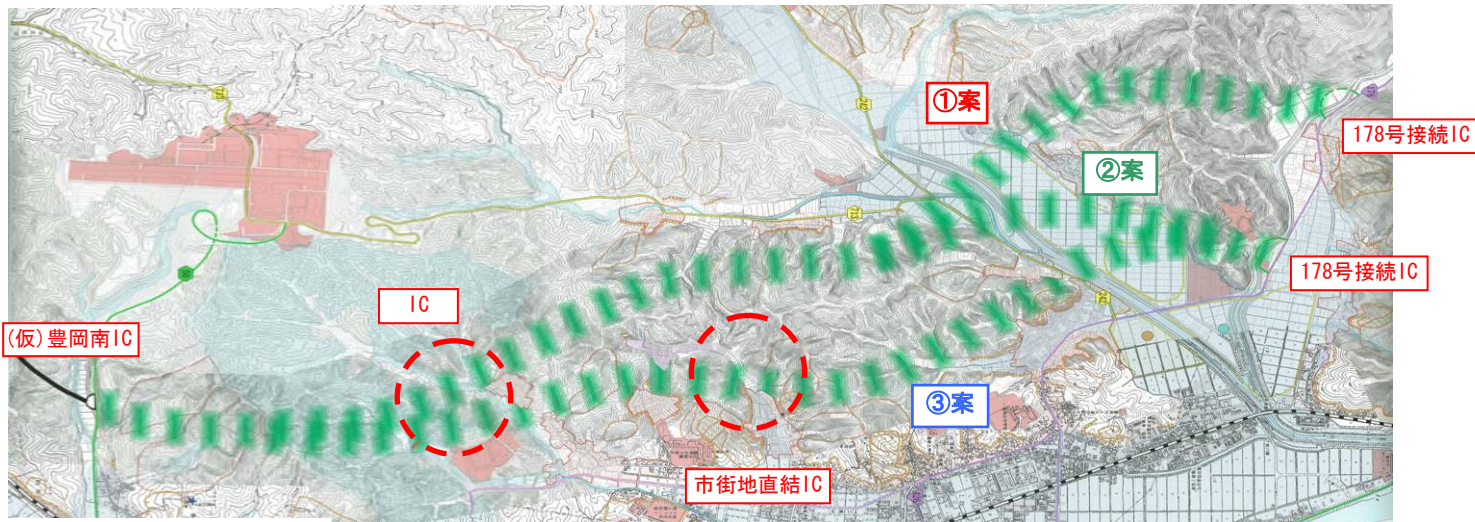
②案の概略イメージスケッチ

～栃江(西)集落から東を望む～

※あくまで概略のイメージ
ルート・構造は今後検討



概略ルート(案)の比較(その1)



地域の活性化

但馬地域の課題		①案(環境優良案)	②案(線形優良案)	③案(市街地近接案)
所要時間の大幅短縮	道路延長及び豊岡道路通過時間	おおよそ7km強[約6分]	おおよそ7km弱[約5分]	おおよそ7km弱[約5分]
	京阪神(大阪市)～城崎までの所要時間	現況の約180分から140分に短縮		
生活道路の渋滞緩和		通過交通を豊岡道路が分担することにより、市街地内の交通量が減少	通過交通を豊岡道路が分担することにより、市街地内の交通量が減少	通過交通を豊岡道路が分担することにより、市街地内の交通量が減少 追加IC設置の場合、ICアクセスが分散するため、①・②案より一般道の交通量は減少する可能性がある

概略ルート(案)の比較(その2)

環境と暮らしを守る道路の整備

但馬地域の課題		①案(環境・機能バランス案)	②案(線形重視案)	③案(市街地近接案)
交通事故の減少		高速道路利用による事故減少、一般道の交通量減少による事故減少		
環境との調和	福田・栃江の水田支障延長(コウノトリの餌場、地域農業への影響)	約350m+栃江の狭い谷部 約500m 水田のまとまりの奥(上流側)で影響(新堂付近でも影響)	約850m 水田のまとまりのほぼ中央で影響	約550m 水田のまとまりの入口(下流側)で影響
	生活環境(大気質、騒音等)への配慮が必要となる可能性のある地区	戸牧第二団地、栃江(西)集落	戸牧第二団地、森津・滝の178号沿道建物	豊岡病院、戸牧第二団地、戸牧集落、戸牧第一団地、高屋集落、福田集落、栃江(東)集落
	地形改変量(自然環境の保全)	栃江～新堂の区間をトンネルにすることにより、他案よりやや切土量は少なくなる	卸売市場西側の山を通過する分、切土量は①案より多くなる	豊岡病院付近、市街地直結のIC部の切土量が多くなる
	景観(特に配慮が必要と予想される視点場と眺望景観の課題等)	福田・栃江付近は、谷奥で奈佐川の流軸に直角に短く通過 栃江集落から南西の景観が課題	卸売市場から福田・栃江付近を広範囲に横切る 栃江集落の正面を横切る 景観が課題、切土が課題	豊岡病院、戸牧第二団地からの景観が課題、卸売市場から福田を広範囲に横切る 景観が課題、切土が課題
災害時の輸送道路確保		大規模災害時には、緊急輸送道路として機能する 豊岡市内外を連絡する主要南北道路が北近畿豊岡自動車道と国道312号の2本となり、リダンダンシーが向上する		
地域医療の支援		豊岡病院付近にインターチェンジを設置することにより、但馬地域の救急医療に寄与		
冬季交通の確保		堆雪幅の確保、必要に応じて融雪設備等を設置することにより、積雪時にも機能する		

概略ルート(案)の比較(その3)

近傍の避けるべきコントロールポイント

項目	① 案 (環境優良案)	② 案 (線形優良案)	③ 案 (市街地近接案)
住宅、公共施設 等	戸牧第二団地、 栃江(西)集 落	戸牧第二団地、豊 岡市第二清掃セン ター跡地、森津・ 滝の178号沿道建 物	細見川堰堤、豊岡病院、戸牧第二団地、 戸牧集落、戸牧第一団地、高屋霊園、高 屋集落、福田集落、栃江(東)集落、豊 岡市第二清掃センター跡地、森津・滝の 178号沿道建物 追加IC設置の場合、アクセス道路により、 15~20件支障する可能性あり
現在使用しているものの 餌場	支障しない	福田の餌場西端付 近を通過	考慮しない(支障する)
オオタカの営巣期高利用域	支障しない		

配慮・検討事項

項目	① 案 (環境優良案)	② 案 (線形優良案)	③ 案 (市街地近接案)
地形・地質条件	豊岡南IC北側の土石流危険溪流区域、豊岡病院付近に広がる砂防指定地		
	軟弱地盤帯(主に 田圃)の通過部 (通過延長最短)	軟弱地盤帯(主に 田圃)の通過部 (通過延長最長)	軟弱地盤帯(主に田圃)の通過部 (通過延長は①案、③案の中間)
	□岩井集落東側の土石流危険溪流区域		戸牧第一団地南側の土石流危険溪流区域、 戸牧第一団地及び高屋集落付近の地滑り 危険箇所及び急傾斜地危険崩壊区域

概略ルート(案)の比較(その4)

円滑な事業の推進 (早期事業化)

項目	①案 (環境優良案)	②案 (線形優良案)	③案 (市街地近接案)
事業費	道路延長はやや長い が、軟弱地盤帯の通 過延長が短いため、 ②案と同程度	道路延長はやや短い が、軟弱地盤帯の通 過延長が長いため、 ①案と同程度	追加IC設置の場合、追加IC費、ICへのアク セス道路設置費及びその補償費のため、他 案より高い
事業手法	早期に整備効果を発揮させるため、地元関係者及び関係機関とのスムーズな合意形 成を目指して早期事業化を図るとともに、早期供用可能な供用形態を検討する		
課題	地元との合意形成 コウノトリの誘致に 積極的な地域を通過 する	地元との合意形成 コウノトリの誘致に 積極的な地域を大き く通過する	合意形成が必要な地区、支障物件が非常に 多い コウノトリが現在餌場としている範囲の水 田を大きく通過する 追加IC設置の場合、インターチェンジ間距 離が非常に短く、交通安全面に課題あり

各概略ルート(案)の得失について懇談会で議論

3. 懇談会の 「とりまとめ骨子（素案）」

懇談会の「とりまとめ」に向けての流れ

但馬地域の現状と市民の意見

- まちの活性化の観点
- 安全・安心な暮らしの観点
- 市民の意見

但馬地域の課題

(豊岡道路に求められる機能)

- 地域を活性化
- 環境と暮らしを守る

主な意見(アンケート・懇談会)

- 計画全般、道路整備
- ルート構造

豊岡道路の計画において配慮すべき事項等

- 計画全般、道路整備
- ルート構造

概略ルート(案)とあわせて「とりまとめ」

但馬地域の現状と市民の意見、但馬地域の課題

但馬地域の現状と市民の意見

但馬地域の交通の状況

まちの活性化の観点

高速道路ネットワークが未整備

大都市から遠い但馬～観光振興に課題

高速道路から遠い但馬～産業振興にも支障

自動車利用の多さと交通渋滞の発生

安全・安心な暮らしの観点

冬季積雪時における自動車交通への影響

生活道路の交通事故が多発

災害の頻発する但馬～生活、医療への不安

但馬地域の課題 (豊岡道路に求められる機能)

地域を活性化

所要時間の大幅短縮

観光客の増加

企業立地の促進

生活道路の渋滞緩和

環境と暮らしを守る

交通事故の減少

自然・環境との調和

災害時の輸送道路確保

地域医療の支援

冬季交通の確保

市民の意見

アンケートで寄せられた主な意見

- ・所要時間短縮
- ・通勤時間帯と観光シーズンの渋滞緩和
- ・住宅地の交通事故削減
- ・生態系への配慮、共存
- ・景観、環境などへの配慮
- ・災害時と冬季の足の確保

主な意見(アンケート・懇談会)

(1)計画全般 道路整備		<ul style="list-style-type: none"> ・観光シーズンの交通渋滞 ・既存道路の改良 ・北近畿全体のネットワーク ・鳥取豊岡宮津自動車道、他道路の計画とあわせ検討
		<ul style="list-style-type: none"> ・一日も早い高速道路整備を望む
		<ul style="list-style-type: none"> ・観光客増加による地域活性化 ・地域格差の解消の一助
(2)ルート構造	自然	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な動植物と共存できるルート ・自然への改変を最小限にとどめる
		<ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリの餌場の水田に配慮 ・コウノトリとの共生、行動圏の拡大の可能性 ・水田を大きなまとまりとして残すことが望ましい
	社会環境	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市街地の西側を通るルート ・住宅地を避ける ・コウノトリ米等の取り組みへの配慮 ・景観への配慮
	史跡・墓地・公共施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土質の田園地帯や神社、仏閣、墓地、遺跡に配慮
	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送路、避難路の確保 ・冬場でも走行しやすい幅員の道路 ・広域防災拠点とのアクセス
	インターチェンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地からアクセスしやすい位置

豊岡道路の計画において配慮すべき事項等

(1)計画全般 道路整備	自専道整備	<ul style="list-style-type: none"> ・高規格幹線道路として整備 ・京阪神都市圏との連携強化 ・鳥取豊岡宮津自動車道が今後計画された場合に接続できる計画 	
	早期整備・ コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・整備効果を早期に発現 ・コスト縮減対策 	
	地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路ネットワークの形成による但馬地域全体の活性化 ・広域的な観光の円滑化、産業、物流拠点等へのアクセス向上 ・利便性、経済性と環境とのバランス 	
(2)ルート 構造	自然	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自然改変量の最小化
		自然環境希少種	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物との共生 ・コウノトリの餌場、将来の餌場への配慮、コウノトリ育む農法との整合 ・希少動植物が生息、生育できる良好な環境への配慮
	社会環境	ルート選定	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市街地の西側山地部を通過するルート ・耕作地への配慮 ・生活環境、自然環境、景観への配慮
	防災	緊急輸送路	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時、冬季積雪時への配慮 ・広域防災拠点との整合
	インターチェンジ	アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ICの設置(豊岡南IC～国道178号接続の間に1箇所) ・第3次救急医療施設へのアクセス確保